



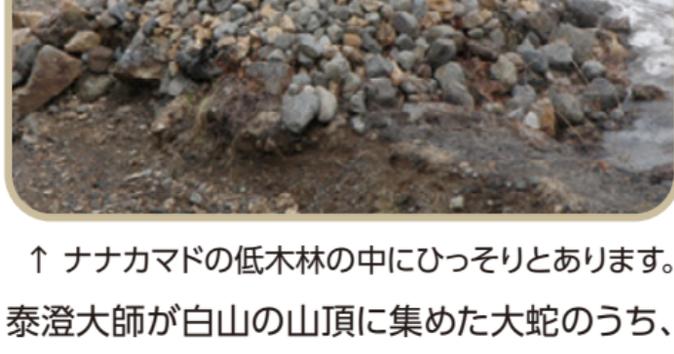
# 白山に伝わる 伝説

平安時代に泰澄大師(たいちょうたいし)により開山され、古くから信仰の山として崇められてきた白山には様々な伝説が残っています。その伝説に基づく場所が数多く残されており、白山の伝説を巡る山の旅を楽しむことができます。ここではその伝説の一つを紹介します。

## 泰澄大師と3,000匹の蛇

泰澄大師が初めて白山に登った時、山の上には3,000匹の大蛇が住んでいました。大蛇は暴れ回り、山麓の人々は大変困っていました。そこで大師は法力(ほうりょく)をもって白山の山頂に大蛇を集め、3カ所に封じ込めました。

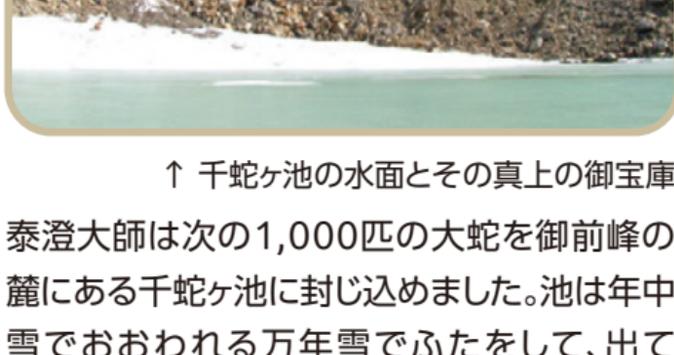
### 蛇塚(じゃづか)



↑ ナナカマドの低木林の中にひっそりとあります。泰澄大師が白山の山頂に集めた大蛇のうち、特に凶悪な蛇1,000匹を斬って地面に埋め、その上に塚を築きました。それが蛇塚です。蛇塚は黒ボコ岩から観光新道を少し下った登山道に見ることができます。登山道脇にたくさんの石が積まれ、塚が築かれています。

### 千蛇ヶ池(せんじゃがいけ)と

### 御宝庫(おたからこ)



↑ 千蛇ヶ池の水面とその真上の御宝庫  
泰澄大師は次の1,000匹の大蛇を御前峰の麓にある千蛇ヶ池に封じ込めました。池は年中雪でおおわれる万年雪でふたをして、出てこられないようにしました。もしふたをした雪が溶けてしまった時には、池の真上にある御宝庫と呼ばれる大岩が崩れ落ちてきて、池にふたをすると言われています。千蛇ヶ池と御宝庫は御前峰を周遊するお池巡りコースで見ることができます。千蛇ヶ池は夏場でも厚い雪と氷にふさがれています。夏場に石川県自然解説員研究会のお池巡りコースの観察会に参加すると解説を聞くことができます。

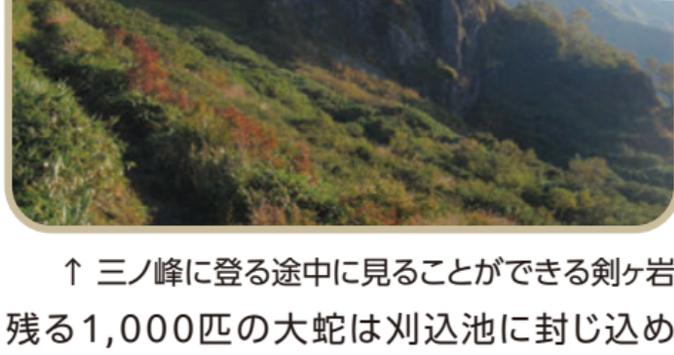
※ 写真:「千蛇ヶ池」と「御宝庫」乾 靖氏 提供

### 刈込池(かりこみいけ)と

### 剣ヶ岩(けんがいわ)



↑ 刈込池と三ノ峰



↑ 三ノ峰に登る途中に見ることができる剣ヶ岩  
残る1,000匹の大蛇は刈込池に封じ込めました。池の上にある剣ヶ岩の上に大剣を突き立て、その剣の影が池に映るようにしました。大蛇は剣の影を恐れて出てこられません。もし大蛇が池から出てしまった時には、二ノ峰(にのみね)にある天狗岩(てんぐいわ)が落ちて池をふさぐと言われています。

刈込池は福井県大野市の上小池(かみこいけ)から登る散策路で池を周遊することができます。紅葉の時期には多くの人々が訪れます。池からは池に映る剣ヶ岩や二ノ峰を見ることができます。



環境省中部地方環境事務所・環白山保護利用管理協会